

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立相武台公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		生涯学習部 相武台公民館 電話 046-256-3700		
開催日時		令和5年6月22日(木) 19時00分～20時33分		
開催場所		相武台公民館 2階 大会議室		
出席者	委員	19人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	4人(館長代理、主事3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		(1) 令和5年度役員の選出について (2) 令和4年度事業実施結果及び令和5年度事業計画について (3) 令和4年度決算及び令和5年度予算について (4) 相武台公民館創立50周年記念事業について (5) その他 ア 地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて イ 運営協議会委員研修について ウ 運営協議会の開催日程について エ その他		

協 議 の 要 旨

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開会

2 委嘱状交付等

宮本会長から委員へ委嘱状を交付した。その後、委員が一言ずつ自己紹介を行った。

3 会議の傍聴

傍聴希望者はいなかった。

4 あいさつ

宮本会長からあいさつがあった。

5 事務局からの説明事項

(1) 相武台公民館の概要について

- ・事務局から「相武台公民館振興計画」について説明した。また、公民館まつりを開催した後に、団体登録数の増加傾向が見られること、5月末から本日(6月22日)までの間に20団体が増加していること、本日現在の相武台公民館利用登録団体数は約200団体で、コロナ禍前の団体登録数と同等の団体数になっていることを説明した。

(意見等)

- ・特になし

(2) 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う公民館の対応について

- ・事務局から説明した。

(意見等)

- ・特になし

6 議題

宮本会長が議長となり議題(1)を進行した。令和5年度の役員の選出後、高橋副会長へ議長を交代し、議題(2)以降が進められた。

(1) 令和5年度役員の選出について

- ・運営協議会の役員が、次のとおり選出された。

副 会 長 (2名) : 桑原委員、高橋(孝)委員

書 記 (2名) : 岡本委員、堀口委員

会 計 (1名) : 右田委員

会計監査 (1名) : 永井委員

(2) 令和4年度事業実施結果及び令和5年度事業計画について

- ・各専門部、ちょっとだけ先生運営委員会、利用者協議会及び事務局から順次、説明を行い、了承された。

・公民館事業に関して、委員の間で助言や意見交換が行われた。

(意見等)

○公民館の事業を実施するにあたり、周知ポスターやチラシに「保育を付ける」旨を記載してもらいたい。「保育付き」は公民館事業の一番の強みであり、「お母さん」が事業に参加しやすくなるとともに、保育部の活動や協力の機会を増やすことができる。

○文化部は、コロナ禍中に「保育付き」の事業を実施できなかった。これからは「保育付き」の事業を実施し、ポスターやチラシにも記載していく。

○昨年度に、4年振りの公民館まつりを開催した。コロナ禍の中で「発表部門」と「展示部門」に限定しての開催だったが、新しいサークルの参加も多くあって大盛況の結果となった。公民館登録サークル数が200に増え、今年度の公民館まつりでは模擬店や飲食が可能になって、より多くの人に来てもらえることを期待している。

○令和5年度事業計画の説明にあったとおり、青少年育成協議会の主催（公民館の共催）で「けん玉教室」を実施する。相武台地域は、けん玉の普及に熱心な先生がいて、昔からけん玉が盛んに行われてきた。これを引き継いで、けん玉を通して相武台地域を盛り上げ、青少年の健全育成に寄与していきたい。青少年育成協議会だけでは教室の実施・運営が難しいので、公民館専門部からも協力をいただきたい。

●公民館からも、各専門部へ「けん玉事業」への協力を依頼する。

●相武台地区は少子高齢化が進んでおり、公民館専門部や各団体が実施する子ども向けの事業に、なかなか子どもが集まらない状況がある。学校やPTAの視点から、子どもの参加を増やすためのヒントをいただきたい。

○公民館や各団体がよく考え工夫をして、子ども向け事業を行っていることを承知している。学校の立場から見て気が付いたことは、小学生が事業に参加する場合、自分だけで情報を収集して参加していることは少なく、保護者がチラシやポスターを見て「子どもが喜びそうだ」と思って子どもに勧めていることの方が多い。そのため、まず保護者に情報を伝えることが大切になる。親子で一緒に参加できる事業も良い。一方で親子参加では保護者の負担になるので、子ども同士又は子どもだけで参加できる事業も良い。また、保護者や子どもの関心をひくためには、周知のポスターやチラシに「インパクトのあるキャッチフレーズ」があると良い。

○自分の子は土・日曜日に野球に参加しており、参加したい公民館事業があっても参加できない。夏休みの平日に事業があると参加しやすくなると思う。また、同じ状況の家庭も多いと思われる。

○自分が子どもと一緒に参加して楽しかったのは「親子陶芸教室」だったが、

人気が高く親が抽選に並ぶのが大変だった。子どもだけ又は子ども同士で参加できる事業があると良い。

○保育部は市民健康まつりで受付を担当したが、子どもの参加が少ない印象だった。

○市民健康まつりは「一般参加」のかたちで開催したが、ボッチャやラダーゲッターなど親子参加や子ども同士の参加を意識したブースを設けていた。募集では、小・中学校の全学年にチラシを配ったが、地域内の子どもが減っている中で「子どもに、先に土・日曜日の予定が入っていた」、「保護者が土・日曜日に働いている」、「地域の他行事と日程が重なった」等の状況が重なり、結果として子どもの参加が少なくなったものと考えている。市民健康まつりにおける子どもの募集・参加のあり方は、今後の検討事項と捉えている。

○緑台小学校は、グリーンパーク周辺や相武台公民館が「学区外」となっており、学校からも「なるべく学区外に行かないように」と案内されている。そのため、緑台小学校の児童は、相武台小学校やもえぎ台小学校の児童に比べて、公民館から足が遠のく傾向がある。

○安心安全まちづくり推進協議会交通部会で「子育て中の母親を主な対象とした電動自転車教室」を検討しており、子ども向けの公民館事業と一緒に開催すると参加者が集まりやすいという意見がある。公民館との調整は可能か。

●検討する。

○3月下旬に4年振りに実施した大掃除には120名の参加があったが、多目的室2（3階）を掃除した参加者から「多目的室2に、壁を開くと鏡があることを知らなかった」、「これからはダンスや踊りで多目的室2を使いたい」、「鏡の存在を知ることができ、大掃除に参加して良かった」という声を受けた。現相武台公民館を整備する際に、多目的室2をダンスや踊りのサークルの活動場所にしたいと考えて鏡を設置した経過がある。コロナ禍の影響もあると思うが、鏡の存在を知らないサークルが多くあって驚いた。また、公民館自体を知らない人もいるので、あらためて公民館の各部屋の設備・備品・使い方等を広報誌で周知するように努めてもらいたい。

○多目的室2の鏡は、この公民館を整備するときに数多くの会議と議論を重ねて設置した。それが有効に使われてないのは気になる。公民館には、部屋が有効に活用されるよう周知してもらいたい。

●公民館及び各部屋の周知について、効果的な方法を検討する。なお、ダンス・舞踊関係のサークルの多目的室利用が増えている印象があり、大掃除での話が契機になった可能性がある。

●8月下旬から実施する「渡辺崋山展」にミシマサイコが関連することから、本日（6月22日）、「相模原柴胡の会」の協力を受けて、公民館敷地内にミ

シマサイコの株と苗を植栽した。

(3) 令和4年度決算及び令和5年度予算について

- ・事務局から説明を行い、了承された。

(意見等)

- ・特になし

(4) 相武台公民館創立50周年記念事業について

- ・事務局から創立25周年記念事業の実績について説明した。
- ・相武台公民館創立50周年記念事業の取扱いについて諮られ、賛成意見多数、反対意見なしにより、記念事業の実施が決定された。
- ・運営協議会役員等で準備会を立ち上げることが決定された。なお、準備会について次のとおり決まった。
 - ・役員を中心として「準備会」を立ち上げ、専門部やサークル等からもメンバーを募ったうえで、記念事業の企画・検討を行うこと。
 - ・記念事業に関する企画・検討は準備会に一任すること。
 - ・準備会は、企画・検討した内容や進捗状況を今後の運営協議会において報告すること。

(意見等)

- 50周年は、25年に一度の実施となる非常に重要な機会であり、この機会に立ち会った私たちが25年間の過去を振り返ると同時に、これから未来の公民館のあり方を考えていくために、50周年記念事業の実施は必要と考える。
- 25周年の記録を残し50周年の記録を残さないでは、後になって何も分からなくなってしまう。10年、25年、そして50年の節目で、相武台地域にどのようなことがあったのかを記録としてまとめ、次の世代へと残していくためにも、50周年記念事業の実施が必要と考える。
- 節目節目で記録を残すことは非常に重要なこと。それに加えて、今回の記念事業では、ただ記録を残すだけではなく、この50年の歴史に検証を加え、次の50年にどう生かしていくのかという視点をもって実施するべきと考える。
- 平成11年度に25周年を迎え、それから25年の間には、平成28年度に公民館が現在の場所へ移転したなど様々なことが起きている。50周年記念事業においては、25年間の歴史を検証しながら、相武台地域の次の世代へと記録を残すべきと考える。これから記念事業を進めるに当たって、運営協議会の役員と、記念事業実施に賛同した委員とで「準備会」を立ち上げ、記念事業の実施に向けて検討を進めていきたい。委員の皆様にご協力をお願いしたい。
- 50周年という記録をまとめ、次世代のために残していくことは、地域にと

って非常に大事なことと考える。準備会が立ち上がった場合には、事務局がサポートし、皆様と一緒に記念事業を作り上げていく。

○50周年記念事業については、実施に賛同する意見が多いことから、実施することに決定する。また、運営協議会役員と、記念事業実施に賛同された委員とで準備会を結成することとする。

●準備会についての補足及び想定として、まず、25周年記念事業の準備会では専門部やサークルからの参加者がいることから、今回の準備会においても、専門部やサークルあるいは地域の方々からも参加者を募ることが必要になると考える。次に、記念事業の全体計画や分科会設置など、記念事業に係る一連の企画検討は、準備会に一任するものとする。次に、準備会が企画検討をまとめた段階で、その内容を運営協議会に報告したうえで「実行委員会」を立ち上げるものと想定する。最後に、今後の運営協議会において、準備会又は実行委員会から記念事業に係る進捗状況等を報告するものと想定する。

○それでは準備会について、次のとおり決定する。まず、運営協議会役員と記念事業実施に賛同した委員とで準備会を立ち上げ、専門部やサークル、地域の方々からメンバーを募ったうえで記念事業に係る企画検討を行うこと。次に、記念事業に関する企画検討は準備会に一任するものとする。最後に、準備会は、企画検討した内容や進捗状況等を今後の運営協議会において報告すること。

(5) その他

ア 地区まちづくりを考える懇談会のテーマについて

- ・事務局から標記テーマを募ったが、応募はなかった。
- ・応募テーマがある場合には、事務局に連絡するよう委員に伝えた。

(意見等)

- ・特になし。

イ 運営協議会委員研修について

- ・事務局から、コロナ禍の影響を受けて運営協議会委員研修が令和元年度以降は未実施となっており、令和5年度の実施を検討する旨を説明した。
- ・事務局から、バス借上げ方式による視察は、過去と比較して予算(補助金)が減額傾向にあること、同方式による研修を実施する場合には参加者に少額でない自己負担額が生じる見込みがあることから、学識経験者による座学形式の研修を主として検討を進めたい旨を説明した。
- ・令和5年度運営協議会委員研修について、継続して検討を行うことになった。

(意見等)

○運営協議会委員の知見等を広げるうえで、バス借上げ方式の研修により、他の地域の興味深い取組みを実地で視察できると良い。

●バス借上げ方式を含めて、研修の実施について検討を行う。

ウ 運営協議会の開催日程について

- ・事務局から、令和4年度にはコロナ禍の状況を見ながら都度、運営協議会の開催日時を決めていたことを説明した。
- ・令和5年度は事前に運営協議会の開催日程を決めることを提案し、次のとおり開催日時が決まった。

第2回運営協議会 令和5年11月22日（水）午後7時から

第3回運営協議会 令和6年 2月29日（木）午後7時から

（意見等）

- ・特になし

エ その他

- ・特になし

7 閉会

桑原副会長のあいさつで閉会となった。

相武台公民館運営協議会委員出欠席名簿

No.	氏名	選出団体等	役職等	出欠席
1	宮本 憲雄	公民館長	会長	出席
2	大塚 善行	相武台公民館区小・中学校長		出席
3	桑原 勝利	自治会連合会	副会長	出席
4	右田 隆一	自治会連合会	会計	出席
5	長堀 直美	自治会連合会		出席
6	高橋 孝雄	社会福祉協議会	副会長	出席
7	荻原 正人	青少年育成協議会		出席
8	安重 悠子	緑台小学校PTA		出席
9	宮村 七未	相武台中学校PTA		出席
10	佐藤 あつ子	利用者協議会		出席
11	岡本 英夫	体育部	書記	出席
12	川島 梨乃	青少年部		出席
13	堀口 眞弘	文化部	書記	出席
14	小野寺 勝弘	広報部		出席
15	滝沢 寿美子	保育部		出席
16	高橋 ぎいち	ちょっとだけ先生運営委員会		出席
17	永井 保子	公民館長推薦	会計監査	出席
18	佐藤 順子	公募		出席
19	丸山 由紀子	公募		出席

※公民館職員：高橋雅広(館長代理)、柳原淳子(主事)、山迫卓(主事)、石井あゆ子(主事)